



教育目標：よりよい未来を創り出そうとする児童の育成
～なりたい自分・仲間・学校になるためにチャレンジ～

令和7年12月24日



東陵小 HP へ

東陵小だより

発行者 校長 深澤 弘美

2学期が終わります

早いもので、本日、2学期の終業式を迎えました。振り返ってみると、長い2学期の間、運動会や持久走大会のような大きな体育的行事をはじめ、各学年の行事に、日々の学習にと、子ども達は精一杯取り組んできました。

終業式の日には、各担任から子ども達に通知表を手渡します。通知表を渡す際には、通知表に書いてあることだけではなく、一人一人の日々の頑張り、成長してきたこと、今後に期待することなどを担任から話します。ぜひご家庭で、どんな話があったのか、お子様からお聞きいただければと思います。

冬休みは、短い期間ながらクリスマスやおおみそか、お正月とイベントが続きますが、ご家族でゆっくり過ごせる時間になると子ども達にとって何よりなことかと思います。

来年も皆様にとりまして、良い年でありますようにお祈りいたしております。2学期間のご支援、ご協力、本当にありがとうございました。

終業式の話

78日間の2学期が終わります。長かったこの2学期を振り返って、皆さんがあなたが一番心に残っていることはどんなことですか。楽しかったこと、がんばったこと、できるようになったこと、もしかしたら悔しかったこと、悲しかったこと也有ったかもしれません。

さて、先日、日本漢字能力検定協会が、「今年の漢字」を発表しました。今年一年の、ニュースや出来事、私たちの気持ちを一つの漢字に込めて、その年を振り返る行事として親しまれています。応募した人が一番多く選んだものが、今年の漢字として選ばれます。今年は何という漢字が選ばれたと思いますか。「熊」です。今年は、秋に人が住んでいる場所にたくさんの熊が表れ、日本の各地で、農作物が荒らされたり人の命が奪われるという痛ましい事故がいくつもありました。この東陵小学校の近くにも熊が表れ、10月は集団下校やお家の方に送迎してもらうことが何回かありましたね。不安な思いをした人もいたと思います。

そこで、校長先生は、東陵小学校の2学期を表す漢字は、何だろうと考えました。思い浮かんだのが、この漢字です。4年生で習う漢字です。何と読みますか？「ゆい」とか「むすぶ」と読みますね。4年生で習う漢字です。「ゆい」とか「むすぶ」と読みますね。この漢字には「むすぶ」という意味のほかに「まとめる」とか「つなげる」「つなげる」「つなぐ」「かためる」という意味があります。

なぜこの漢字を選んだかというと、みんなの学校生活の中に「人とつながる」ことの良さがたくさん見られたからです。一つ目は、学年を超えたつながる活動の中で見られた良さです。例えば、運動会、縦割り活動や学校会議もありました。6年生が中心となって、みんながつながって楽しい時間、よく考える時間を過ごすことができたと思います。みんなをつなげてくれる委員会の活動もありました。この間、図書委員会のみなさんは、1年生から3年生に紙芝居をしてくれました。これも、紙芝居をてくれた図書委員会の人と1

年生から3年生がつながる活動でした。紙芝居を見に行った人は、楽しかったですよね。紙芝居をしてくれた図書委員会の人たちもたくさん練習をして頑張ってくれました。

2つ目は、授業です。授業は、一人で考える場面もありますが、ペアで話し合ったり、グループで教え合ったり、まとめたり、人と関わって、つながり合って勉強することがたくさんあったと思います。一緒に考えたり、教えてもらったり、教えてあげたり、みんなとつながりあって勉強するからわかることがたくさんあったのではないかと思います。力がついたことがたくさんあったのではないかと思います。

人間は、一人では生きていけません。必ず周りの人とつながりあって、生きていかなくてはなりません。だからこそ、学校で、人とつながり合って学ぶ時間を大事にしてほしいと思います。

今日で2学期の勉強は終わりです。3学期も、人とつながりあって勉強したり活動したりして一人一人の力がもっともっと伸びることを期待しています。

いい3学期を迎えるためにも、安全や健康に気を付けて元気に過ごす冬休みにしてください。

